

スクリーン幕面についてのご注意

- ホワイトボード専用のマーカーをご使用ください。油性・水性ペンでは絶対に書かないでください。
- スクリーン幕面に書いたまま長時間放置しますと消えにくくなる事があります。イレーザーで消えない時は、水拭きしてください。それでも消えない時はアルコールをつけた布で拭き取ってください。
- 手の脂分が幕面に付着すると消えにくくなる事があります。
- 極端に早書き・早消しするときれいに消えない事があります。

故障かな?と思ったら

(1) 故障の内容と対策

故障かな?と思ったら、修理を依頼される前に次のことを確認してください。

故障の内容	原因	処置
スクリーンにシワが出る	固定ローラーを設置面に押し当てずに操作した	一度巻き直した後、固定ローラーを押し当てて操作してください。

(2) 故障の場合

修理が必要な場合は、販売店までご連絡ください。

製品仕様

品番	画面寸法 W×H(mm)	重量	主要部品材質
VGM-60V	1280 × 800	約2.4kg	・スクリーン生地/ PETフィルム・フッ素樹脂・マグネット
VGM-72V	1552 × 970	約3.1kg	・スクリーン本体ケース/ アルミニウム

お手入れについて

定期的に“きれいな布”を水に浸し、良く絞り、幕面を水拭きしてください。

※ベンジン・シンナー等の油性のものや、金属などの硬い物を使用した場合、生地への破損の原因になりますので、絶対に使用しないで下さい。

取扱説明書について

この『取扱説明書』を汚されたり、紛失された場合は、販売店又は当社営業担当者、あるいはお客様相談センターまでご連絡いただき、内容を確認の上、ご請求ください。

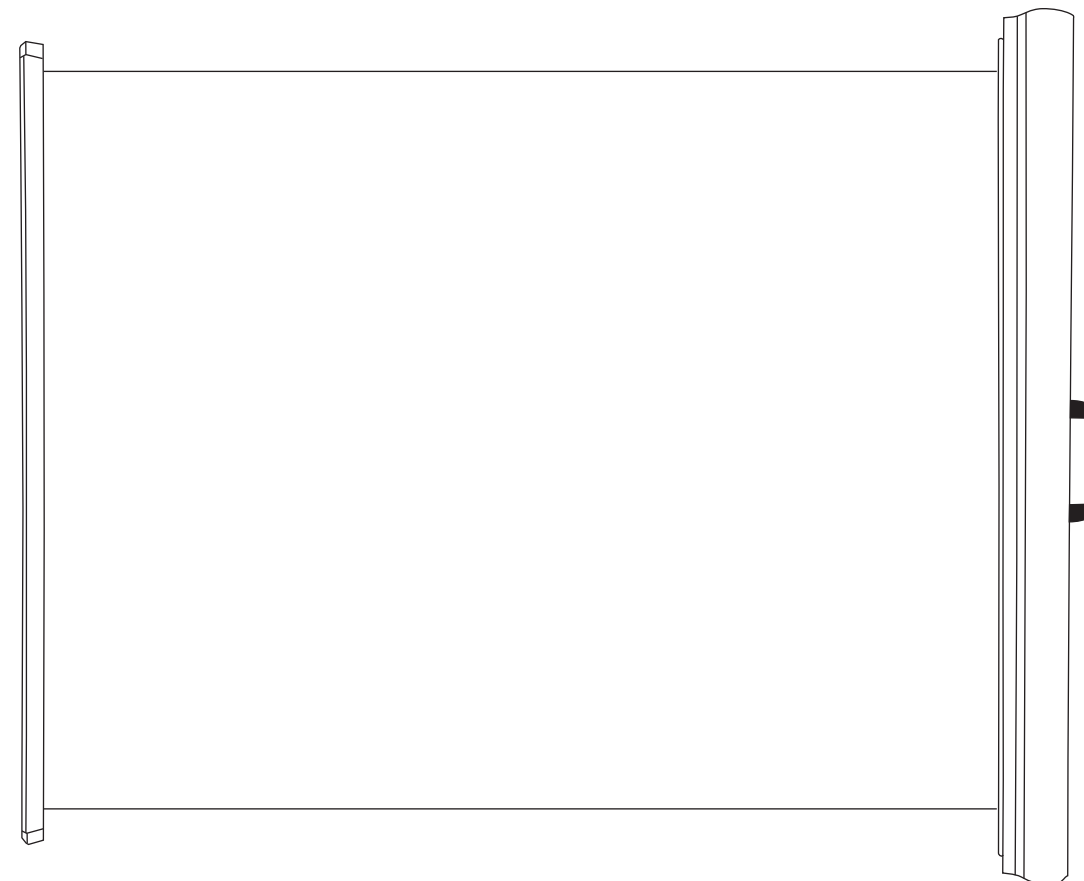
この製品を譲渡される場合は、次の所有者にこの説明書を必ず添付して譲渡してください。



取扱説明書

VGMシリーズ

(モバイルマグネットスクリーン)



このたびはお買い上げいただきありがとうございました。

ご使用前に、本機の機能を十分生かしてご利用いただくために、この「取扱説明書」を最後までお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保存してください。

万一、ご使用中にわからないことや不具合が生じたとききつとお役に立ちます。

安全のために

製品は安全に十分配慮して設計されています。しかしまちがった使い方をすると、火災や人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次の注意事項を必ずお守りください。

警告	!	安全ワイヤーをセットしてお使いください。衝撃により落下する可能性があります。
	⊘	1. 製品を分解しないで下さい。脱落の危険があります。 2. STOPマーク位置よりスクリーンを出しますと、スクリーンが脱落する危険がありますのでそれ以上は引き出さないでください。 3. スクリーンケースは垂直方向にセットして操作してください。水平方向にセットすると落下する可能性があります。

注意	!	スクリーンを操作する際には、設置面に異物や汚れが無い事を確認してから操作してください。
----	---	---

《発売元》

VISPRO 株式会社ビスプロ

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-9-10 YKB 東ビル 4F
TEL.03-6260-8870 FAX.03-6260-8871

《販売代理店・お問合せ先》

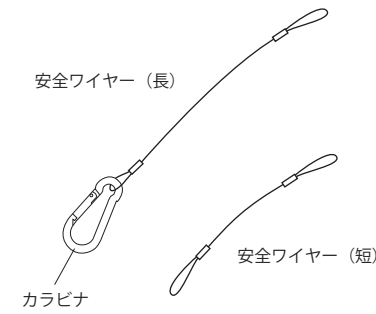
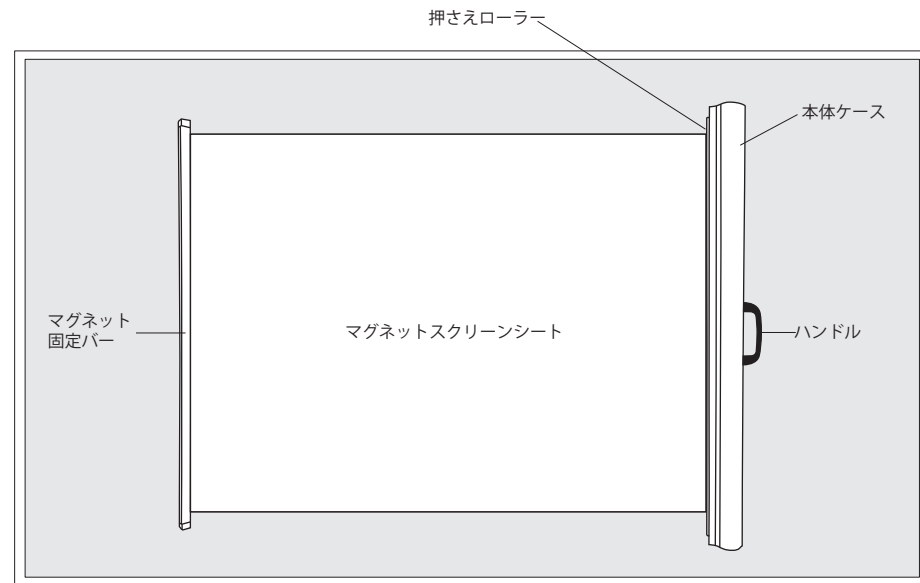
KIC 株式会社 ケイ アイ シー

■東京支店
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-28-11 小杉ビル
TEL.03-3357-7195 (代) FAX.03-3357-9365

■大阪支店
〒550-0014 大阪市西区北堀江2-2-17 ビジネスゾーン北堀江
TEL.06-6536-4114 (代) FAX.06-6536-4118

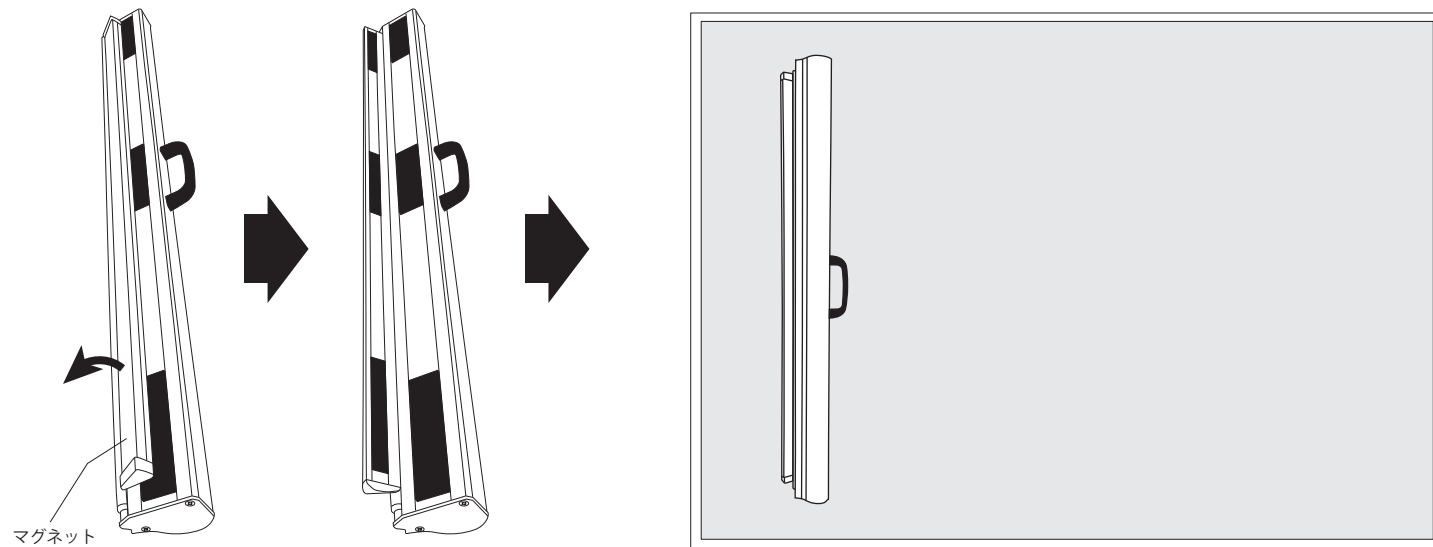
■名古屋支店
〒460-0015 愛知県名古屋市中区大井町7-29
TEL.052-332-1447 (代) FAX.052-332-1448

製品各部の名称

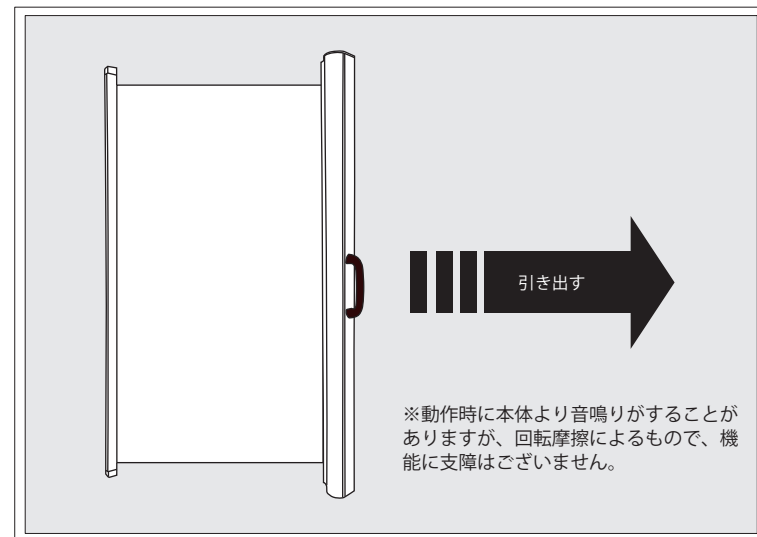
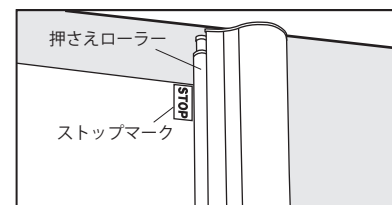


スクリーンの操作方法

(1) 垂直にマグネット固定バーとケースを黒板等に貼り付けます。

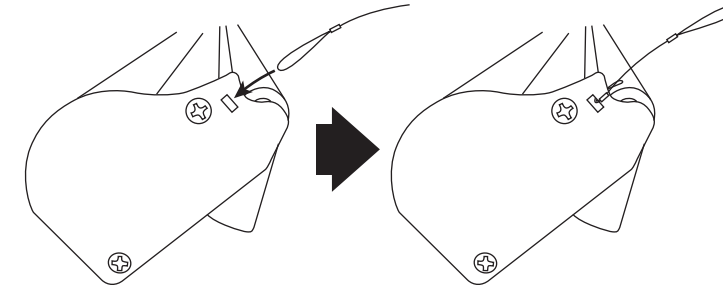


(2) 片手でハンドルを、もう片方の手でケースの下側を持ち、ハンドルが正面に見える方向に本体ケースを傾け、押さえローラー部分を黒板に押しつけながら右図の矢印の方向へスクリーンを引き出します。
STOPマークが出たら引き出すのを止めて、本体ケースを傾け直して設置面に本体ケースを固定してください。

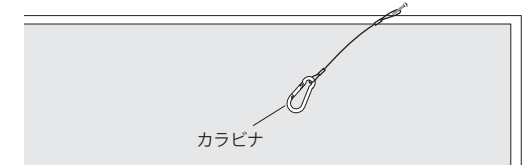


安全ワイヤーの取付方法

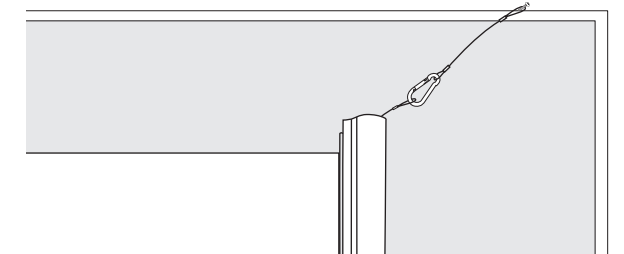
(1) 安全ワイヤー (短) を本体に取り付けます。



(2) 安全ワイヤー (長) を黒板上端付近に付けます。
※製品にはビス等は付属しませんので、取り付けする場所に合わせたビス等を用意して固定してください。

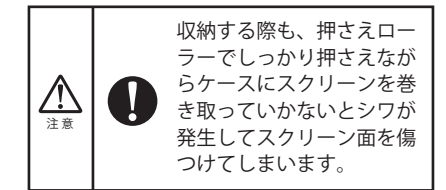
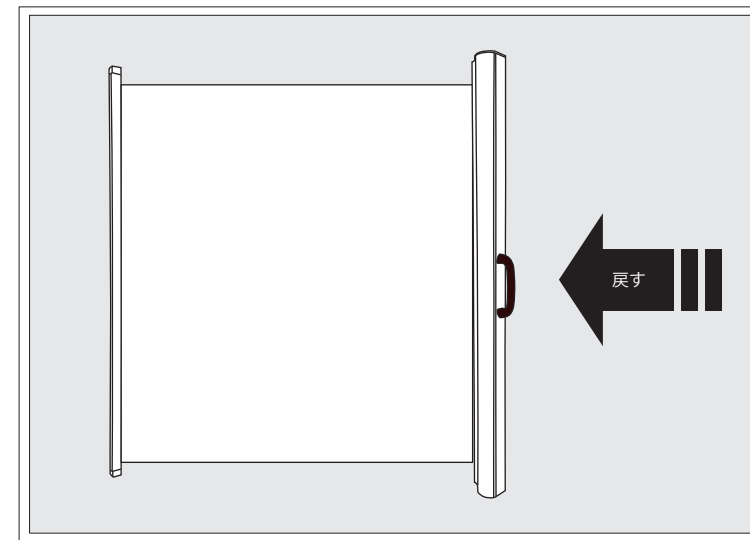


(3) 安全ワイヤーの (短) と (長) をカラビナで繋がせます



スクリーンの収納方法

(1) 引き出した時と逆の手順でスクリーンを収納します。



(2) 巻き取り終わったら黒板等より外し、マグネット固定バーを収納します。

